

特集!

金岡新院長からのごあいさつ



愛心メモリアル病院 院長 金岡 健

は

P U L S E

す

Vol.16

CONTENTS

- ♥ 愛心メモリアル病院
こんな病院を目指したい
病院のボランティア
- ♥ 介護老人保健施設プラットホーム
デイケアに密着取材!
- ♥ 来夢ライン
希少価値なんです ~療養通所介護サービス~
- ♥ ステーションあいしん
平成20年度アンケート結果のご報告
- ♥ 愛心循環器クリニック
愛心内科・消化器科クリニック
いびきが大きい方は要注意!
- ♥ ばるすちゃんの投書箱
医師と椅子
- ♥ 明治142年の生活
電燈のお話し



医療法人社団愛心館 ♥

こんな病院を目指したい

4月1日から愛心メモリアル病院の院長に就任いたしました金岡です。よろしくお願いいたします。いま私が考えている「こんな病院を目指したい」というビジョンを皆様にお伝えすることで就任のご挨拶とさせていただきます。

患者様はいろいろな不安を抱えて病院にいらっしゃいます。病気に直接関係したものと限りません。そのような不安や悩みを解決したり、できるかぎり軽減できるようなサービス、医療あるいは情報を提供できるようにしたいと考えております。

まず、患者様が不安を感じる前に、気遣いが出来るような病院でありたいと思います。例えば、初めて受診された患者様が玄関で戸惑う様子がみられたら、ごく自然にスムーズにすっと歩みより、受診・手続きの流れなどをご案内できるような気遣いのことです。

診療に関しては、循環器系が専門ですが、患者様のさまざまな身体の悩みに対応できるように、職員の知識と技術を最新のレベルに保つ努力が必要です。新しい検査や治療法も積極的に導入を図っていきたくて考えています。

一方、当院での対応が困難な場合であれば、適切な判断で他の医療機関をご紹介あるいは情報を提供し、患者様の不安を取り除いていきたくて考えております。そのためには他の医療機関との間に信頼に基づいた連携が必要です。患者様の目線からも分かるような「太いパイプ」作りを目指したいと考えております。お互いの医療機関の役割を十分に理解している信頼のネットワークによって、患者様のさまざまな不安に対応できるような医療を提供していきたくて思っております。

最後に、当院の組織についてです。ご存知のように病院では多くの専門職が患者様を救うために一生懸命働いております。この一人一人の専門的な能力を十分に発揮できるような職場を作っていきたいと考えております。そのためには、今以上に縦・横・斜め、どの方向にも自由に意見が言えて、なおかつそれを受け入れられる風通しのよい組織を目指します。そうすることによって職員同士がお互いを認め合い、感謝し合える環境ができ、全職員がやりがいを感じることでできる職場になると思うからです。

また、本年4月より、副院長として北海道がんセンター心臓血管外科の石井浩二先生、看護部長として野中浩美を迎えました。新たな体制による活力によって、さらに勢いのあるパワフルな組織を造っていきたくて思っております。

基本を忘れず、最終的な目標を見失わず、一つひとつコツコツと慎重にことを進めてまいりたいと考えています。皆様のご協力とご指導の程、宜しくお願いいたします。



さて、金岡院長はどんな人なのでしょうか。早速、インタビューしてみました。

手術中の金岡院長



Q1：まずは、先生の下のお名前を教えてください

A：健康の「健」と書いて、「つよし」です。名字は、「かねおか」ではなく、「かなおか」です。

Q2：先生のプロフィールを教えてください

A：出身はワインで有名な北海道池田町です。帯広の高校から札幌医科大学医学部に入学しました。麻酔医として3年間、その後一般外科を経て、心臓血管外科医となりました。平成6年に1年間愛心メモリアル病院に勤務。その後、旭川市立病院、北海道社会保険総合病院等を経て、平成19年4月に愛心メモリアル病院に戻ってきました。

Q3：先生が感じる愛心メモリアル病院の特色はなんですか

A：単科の病院ということもあり、組織が同じ方向に向かって動いています。例えば、総合病院では、臨時手術するのに様々な部署と調整することが必要ですが、それがほとんどありません。臨時手術は患者様のために必要なのだから、みんなが協力しあって当然という組織の風土があります。その雰囲気にとってもいいです。お互いを理解し合っている感じがあります。

Q4：外科医として、何か気をつけていることはありますか。例えば、手を包丁で切らないように料理はしないようにしているとか…

A：利き手である右手は大事にしています。例えば、右手で重いものを持たないように注意しています。後は一般的なことですが、手術前にはお酒を控え、夜更かしをしないようにしています。この頃、料理はしてませんが、前は時々していました。こくのあるカレーライスが得意です。

まだまだ、皆様にお伝えしたいことは山ほどあるのですが、紙面の関係上、今回はここまでとさせていただきます。機会があれば、また次回に……。

愛心メモリアル病院

Tel.011-752-3535 Fax.011-752-1058
〒065-0027 札幌市東区北27条東1丁目1-15

○ あなたの知らない病院の世界 ○

『いやあ、ついつい話し込んでしまったよなあ』

～ほほえみの とびらをあける ボランティア～

「最近、色々なところでボランティアをしている方が増えたな」と感じます。3月に開催された東京マラソンでは、ボランティアの方々の炊き出し（おにぎり+お味噌汁）が大人気だったということです。大変な出来事に立ち向かう時、このボランティアさんの気持ちがとっても嬉しく感じますよね。

実は、愛心メモリアル病院でも平成18年より学生の医療ボランティアを受け入れています。「病院でのボランティアって、一体どんなことをするの?」と疑問を持たれた方も多いはず。今回は当院でのボランティア活動や実際にボランティアに来てくれている学生達の紹介をさせていただきます。

● 病院ボランティアの主な活動 ●

- ◆ 入院患者さんのお話し相手
- ◆ リハビリのお手伝い
- ◆ 外来窓口での案内役

● 愛心オリジナルの活動 ●

◆ 療養アルバム『「ほほえみ」の「とびら」』の作成 ◆

※療養アルバムとは…

希望された入院患者さんの療養の様子を写真撮影し、退院後にアルバムに編集してお渡しするサービスです。ボランティアの方に写真撮影を手伝ってもらっています。1冊500円(税込)です。

現在、札幌市立大学看護学部の学生さんに院内でのボランティア活動をしてもらっています。看護を学ぶ学生ですので、体位交換や検温、血圧測定などのお手伝いをしてもらったりもします。



安藤佑貴子さん



小野寺美春さん



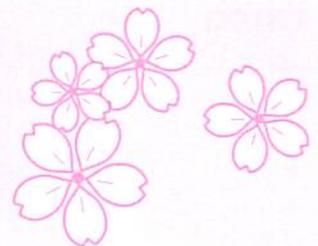
三浦舞子さん



齋藤有友美さん



幡谷春奈さん



仙波明子さん



中山裕理さん



葭内あずさん



三浦麻衣さん



ボランティアを始めた当初は、患者さんに話しかけることに緊張した様子もみられましたが、3年を経た現在では明るい笑顔でお話できるようになり、入院患者さんの癒しとなっています。前述した療養アルバムも、「ボランティアに勧められて依頼したんだけど、入院の良い記念になってよかったよ」と言ってくれる方がおりました。

さらに「明るい笑顔で話を聞いてくれるから、ついつい話し込んでしまった」などのコメントにもあるように、ボランティアは患者さんの隣で寄り添い現場の職員とは違った安らぎ・ゆとりを与えてくれますので、愛心メモリアル病院には不可欠な存在です。

病院で働く職員にとっても、若いフレッシュなボランティアの存在が、職員自身の接遇を振り返るいい機会となっております。今後もボランティアの募集を継続して行い、さらには活動範囲も拡大して、共に病院にいらっしゃる患者さんをお迎えする体制を整える予定です。これを読まれた皆様も、もし青い白衣姿のボランティアを見かけたら気軽にお声をかけて下さい。(長谷実央子)

デイケアに密着取材!

今回は、プラットホームでの「デイケア」についてお知らせします。いったい、どんな1日を過ごしているのでしょうか。早速、ご覧下さい。

デイケアの1日の流れ

8:30

8時30分頃から順次お迎えに伺います。

9時から10時過ぎ頃までには皆さん到着です。到着したら、まず健康状態のチェックです。

健康管理



10:00

皆さんが揃ってからは体操の時間です。

その後はお昼まで、個人個人の活動に入ります。

- ・個別リハビリ
- ・口腔ケア
- ・入浴
- ・レクリエーション
- ・趣味活動

入浴



リハビリ



ステンシル



レクリエーション



創作(貼り絵)



趣味(陶芸)



12:00

みなさんお待ちかね!今日のメニューは?

食後は館内の喫茶店でコーヒーはいかが?

ある日のメニュー(出来合いのものは使用していません。全てが手作りです。)

- ・ご飯
- ・鶏もも肉の赤ワイン煮込み
- ・さつまいもの甘煮
- ・カニ入りマカロニサラダ
- ・りんご

13:00

昼食後は再び、個人個人の活動に入ります。

- ・個別リハビリ
- ・入浴
- ・レクリエーション
- ・趣味活動

レクリエーション



趣味(水彩画)



今週の歌(合唱)



趣味(囲碁)



料理教室



歩行訓練



15:00

当施設のシェフによる手づくりのおやつです。

ゆっくりおやつを食べた後は、みんなで太極拳をしてから帰る準備をします。



誕生日にはホテルの調理長出身のシェフによる自家製パースデーケーキでお祝い

太極拳



16:00

16時頃から順次お宅までお送りいたします。きょうも「あっという間」でしたね

送迎



ご利用者様にインタビュー

～プラットホームのデイケアの魅力はなんですか?～
 ・家にいると何もしないので、定期的にここに来る事で、歩いたり、運動したりできるのがいいよ…
 ・お食事が美味しいからいつも楽しみにしているの…
 ・みなさんとお話できるのを楽しみに来ているの…
 ・やっぱり大きなお風呂に入るのは気持ちいいねえ…

趣味☆創作活動(一例)

「初めて」という方が多いです。チャレンジしてみませんか?
 ・貼り絵・切り絵・ぬり絵・陶芸・水彩画・書道
 ・フラワーアレンジメント・トールペイント・ステンシル・料理…その他いろいろ

レクリエーション(一例)

運動機能の維持・回復も兼ねたレクリエーションです。
 ・足蹴りボーリング・テーブルホッケー・バットゴルフ…その他いろいろ

頭の体操(一例)

楽しみながら脳を活性化しましょう
 ・まちがい探し・計算問題・読み書きあわせ・日本地図(ここは何県?)

体の体操(一例)

無理なく出来る範囲で体を動かしましょう
 ・ラジオ体操・太極拳・歌に合わせての体操(マツケンサンバなど)

介護老人保健施設プラットホーム

Tel.011-776-3037 Fax.011-776-3039
 〒002-8072 札幌市北区あいの里2条1丁目20-1

希少価値なんです。～療養通所介護サービス～

今回は、介護老人保健施設プラットホームと同じ建物の中にある「来夢ライン」についてご紹介します。来夢ラインには2つの顔があります。訪問看護サービスと療養通所介護事業所です。他の施設と比べて、少しばかり自慢できるのが、「療養通所介護」サービスです。でも、「療養通所介護」って一体何？六個の漢字だけでは、どうもうまくイメージができません。ということで、今回は「療養通所介護」について、一般の皆様にはわかるように、来夢ラインの森所長に、Q&A形式で説明してもらいました。

Q1: まずは、療養通所介護サービスを提供できる事業所はとて少ないと聞きましたが。

A: おっしゃる通りです。北海道では私達の事業所を含めて、3ヶ所だけとなっています。訪問看護サービスが260ヶ所です。その少なさがわかっていただけたと思います。療養通所介護サービスを提供できる事業所は、日本全体でも、60ヶ所程度となっています。



来夢ライン外観

Q2: いつごろから始まったサービスなのでしょうか。

A: まだ新しく、平成18年4月からスタートしたサービスです。北海道日本ハムのヒルマン監督が「シンジラレナ〜イ」と言った年です。

Q3: どんな人が対象となるのでしょうか。

A: 医療と介護の両方のニーズが必要な方です。例えば、がん末期の患者さんや人工呼吸器をつけている重度な介護を受けている方などで、常に看護師による観察が必要な人が対象となります。今までの通所介護で対応できなかった方々へのサービスです。

Q4: サービスの目的はなんなのでしょうか。

A: 利用者の社会的孤立感の解消や心身機能の維持、そして、介護している家族の負担軽減が目的です。外出する機会が少ない利用者にとっては大きな刺激になります。一方、家族にとっては、ちょっとした息抜きができる貴重な時間となります。

Q5: 実際にどのような方が利用されているのでしょうか。

A: 当事業所では、神経難病と脳梗塞後遺症の方がそれぞれ3割、がん末期患者さん2割、その他の方が2割となっています。

Q6: 具体的には、1日の流れはどのようになるのでしょうか。

A: 利用者によって、違いはありますが、一般的には以下のようになります。

9時 看護師が付き添う車で自宅までお迎え
午前中 水分補給、入浴や休息
12時 利用者様に合わせた昼食
午後 リハビリや休息
3時30分 看護師が付き添う車で自宅までお送り



送迎の様子

Q7: 定員はあるのでしょうか。

A: 現在の定員は3名です。1日3名で、個別的なケアを行っています。定員は、今後拡大していく予定です。



事業所内のベッド

Q8: 大切にしていることは、何でしょうか。

A: ケアの継続性と利用者が安心して通所に通える雰囲気作りです。例えば、利用者が不安にならないように、家族が在宅でどのようなケアを提供しているのかを家族から聞いて、通所で提供するケアのやり方を工夫しています。また、訪問看護師からも必要な情報を収集し、通所でのケアに活用しています。そして、そうした情報をスタッフ間で共有し、申し合わせることで、ケアの継続性を確保しています。

来夢ライン 療養通所介護事業所 Tel. 011-776-3555
Fax. 011-776-3072
訪問看護ステーション Tel. 011-776-3071
Fax. 011-776-3072

〒002-8072 札幌市北区あいの里2条1丁目20-1

新しいサービスなので、いろいろと課題があるのですが、ひとつひとつ解決していき、今以上に良い療養通所介護サービスを提供していただきたいと思います。森所長、貴重なお話をどうもありがとうございました。

平成20年度アンケート結果のご報告

当訪問看護ステーションでは、平成18年度から1年に1回利用者様の率直なご意見を聞くために満足度調査を実施しております。

今年度は昨年度と同様の内容でアンケートいたしましたので、結果をご報告いたします。

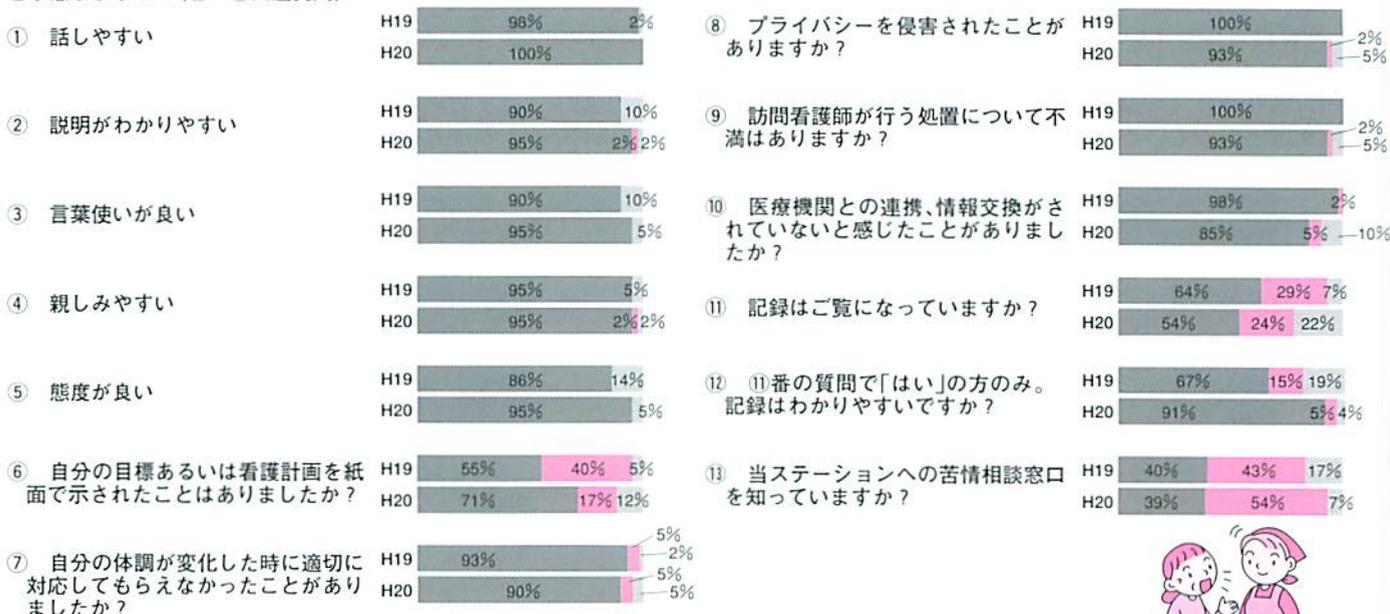
【利用者様満足度調査】

平成20年度アンケート実施期間：平成20年9月1日～9月30日 送付数：54部 回収数：41部 回収率：75%

平成19年度アンケート実施期間：平成19年9月1日～9月30日 送付数：60部 回収数：42部 回収率：70%

アンケート質問内容

訪問看護師の態度・言葉遣いについて、どう感じますか？(①～⑤共通質問)



アンケート結果について

◆①～⑤について

看護師の態度・言葉遣いについての不満はほとんどありませんでした。

◆⑥、計画提示について

昨年度よりも「提示された」割合が高くなっております。今後とも、利用者様と計画、目標を共有できるよう関わっていきたくと考えております。

◆⑦～⑩、対応について

昨年度と比較すると少し低下しておりますが、具体的な不満としては記載がありませんでした。

◆⑪、⑫記録について

「記録をご覧になる」割合が昨年度より少ないことが分かりました。しかし、記録をお渡しすることで、利用者様だけでなく、ご家族、他のサービス事業者の方々にも訪問時の状況をお伝えすることになりますので引き続き、ご自宅に記録を置かせていただきたいと思います。記録をご覧になっている方には「記録がわかりやすい」割合が昨年度よりは多くなっております。今後も自己管理に役立ててもらえるよう、わかりやすい記録づくりをしていきたいと考えております。

◆自由記載していただいたご意見を一部抜粋させていただきます。

- 1、受診と受診の間の体調変化が不安だったが、訪問看護のおかげで多少動揺せずにいられる。薬のことなど気軽に相談でき、返答してもらえて助かっている。利用者だけでなく介護者への対応にも愛情を感じ癒される。
- 2、病院へ行くのがだんだん大変になってきているので、看護師の方に見て頂いて、指示を受けると安心します。
- 3、臨時で対応してくれてありがたい。
- 4、とてもやさしく、親切で、愛想の悪い患者にも嫌な顔せずに対応してくださり、感謝しています。

このようなお言葉をいただき、私たち職員一同の励みとなりました。お忙しい中、アンケートにご協力いただきました皆様、ありがとうございます。今後とも、利用者様やそのご家族が安心して生活できるようサポートさせていただきます。

訪問看護
介護支援 **ステーションあいしん**

Tel. 011-752-3540 Fax. 011-748-8771
〒065-0027 札幌市東区北27条東1丁目1-14
加藤ビル3階

いびきが大きい方は要注意！～睡眠時無呼吸症候群～

みなさん、こんにちは。

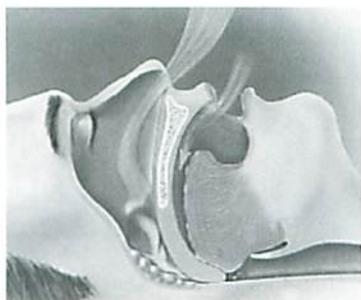
JRタワー8階にあります、愛心循環器クリニックと愛心内科・消化器科クリニックです。今回の話題は、現在、循環器クリニックで対応している「睡眠時無呼吸症候群（Sleep-Apnea-Syndrome＝通称SAS）」についてです。なかなか、聞き慣れない文字ばかりが並んだ病気なのですが、実は意外と身近にある病気なんです。

ある研究では、日本人の総人口の約1～2%、およそ120万人に潜在的にSASがあると言われております。しかし、実際にSASと診断され、治療している人は、その1%強の1万6千人程度なのだそうです。すなわち、118万4千人の人が、自分がSASだと知らずに生活しているかもしれないのです。

随分前の出来事になりますが、平成15年に起きましたJR西日本山陽新幹線運転士の居眠り事件や、まだ記憶に新しいアメリカでのスペースシャトル「チャレンジャー」の爆発事故、スリーマイル島での原子力事故の原因がこの病気であるということがクローズアップされ話題になりました。

また、最近では、SASの患者さんが起こす交通事故の発生率が、一般のドライバーの約7倍という驚きの報告もあります。

そもそも、このSASという病気（特に欧米人の肥満の方に非常に多いといわれている閉塞型のSAS（Obstructive-



Sleep-Apnea-Syndrome＝通称OSAS）は、どのようなものかと言いますと、左図にありますように、寝ている時に喉の奥が、何らかの原因で狭くなり呼吸するために必要な空気の通り道（気道）を閉めてしまうことから、一種の「窒

息状態」を引き起こす病気です。

その「窒息状態」を改善しようと、脳が、「酸素不足です。呼吸をしろさい！！」と身体に命令を出して、「ゴーツ、ンガーツ」というようないびきを発して、大きく呼吸をさせるようになっています。

日本人（アジア系民族）は欧米人に比べて、骨格的に顎が小さく、首が短いため、鼻腔（鼻の奥の空洞）や口腔（喉の奥の空洞）が小さく、元々SASになりやすいので、典型的な肥満でなくてもSASになりうるということが知られています。

もちろん、このような状態が続く事は身体にとっても良くありません。最近では、研究がどんどん進み、中枢神経系（脳や神経）、呼吸・循環器系（肺や心臓、高血圧や不整脈など）など、色々な部分での障害が指摘されてきております。このあたりの詳しい話は、また次回に。

まずは、知る事が大切です。「いびきがとても大きい」、「いくら眠っても眠り足りない」などの気になる症状がありましたら、まずは当クリニックにご相談下さい。



愛心循環器クリニック

Tel. 011-209-5250 Fax. 011-209-5432

愛心内科・消化器科クリニック

Tel. 011-209-5265 Fax. 011-209-5427

〒060-8503 札幌市中央区北5条西2丁目
JRタワーオフィスプラザさっぽろ8階



ぱるすちゃんの投書箱

今回の投書

ある患者様からのお手紙を紹介。新聞社に投稿された内容です。

「医師と椅子」

私達夫婦が介護センターに入居し、若い人たちに昼夜を問わず温かい介護を受けて早くも300日余り経過しました。この間往診の先生から丁寧な健康管理をして戴き安心の夜を送ってきましたが、胸の不調を感じてご紹介戴いた東区の心臓血管専門の病院を訪ねました。

溢れる様な患者、これでは何時に終わるのかと思いましたが、様子を見ていると病院全員の足並みが揃い回転が実に早い。造影剤によるCT撮影検査の他、約5種類の検査がテキパキと鮮やかに終了しました。

事務・看護・検査といずれも待合室患者の前で肉声で呼び出してくれる。放送はとにかく音質が違って聴力の弱い私には苦手だ。検査の際は明確に復誦手際よい。

結果説明日、不安な気持ちも入り混じり診察室に入る。ふと見ると医師と立派な回転椅子がもう一脚ある。はてなと思う間もおかず先生が入室。一脚は患者用でした。

よく言われてきたことだが、医師は立派な大きな椅子に坐り、小さい椅子に坐った患者は不安と劣等感で萎縮します。その思いやりが椅子にしたのでしょう。気持ちの余裕ができました。結果報告どの検査も異常なし百点満点です。私が坐ったのは幸運の黄金の椅子でした。病院と先生に心から感謝し、我が鼓動何時迄も力強く願わずにおられませんでした。先導してくれたセンターの看護師さん、ありがとう。

当院では患者中心の医療を理念として掲げています。それは応対に限らず、患者様が利用される物ひとつにおいても同じことであると考えております。病院と患者様の関係において優越があっては患者中心の医療はできません。診察室にある患者様の椅子はこうした背景からご用意しております。



明治142年の生活 その3

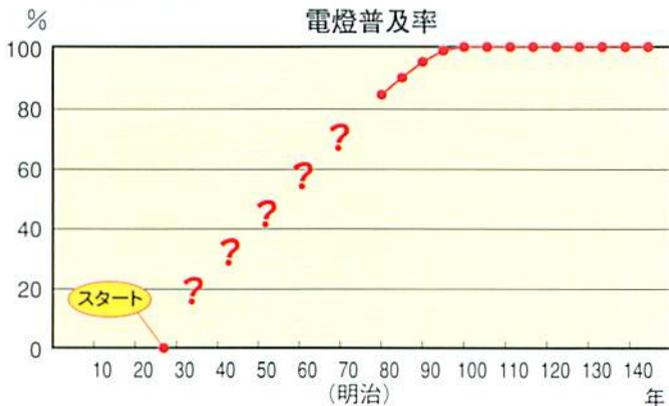
明治142年の生活とは？

今年は平成21年ですが、明治が続いていたら明治142年です。今の生活では当たり前のことであっても、ずっと昔からあたり前であったのかどうかを皆様に問いかけるコーナーです。

～電燈のお話し～

もうあれから14年も経過するんですね。阪神・淡路大震災のことです。明治128年の平成7年に発生しました。その時の生活について記述した冊子、「こうべからのメッセージ(復刻版)」(編集:生活協働組合コープこうべ生活文化・福祉部 2004年発行)の45ページに、こんなことが書いていました。

「明かりの消えた街…。ライフラインの中では比較的復旧の早かった電気ですが、数日間停電の続いた地域が大半。地震当日の夜は、取材ヘリコプターのプロペラ音、ひっきりなしに行き交う救急車のサイレンを聞きながら、真っ暗な中で不安な夜を過ごしたのです」



現代の照明はほとんどが電気が頼りです。照明に限らず、冷蔵庫、テレビ、パソコン等電気で動く便利なものばかりです。それで、逆に地震などで停電になったら、不便そのものの生活になると思います。さて、長い前置きはこれぐらいにして、本題に入りましょう。明治142年の生活。今回は電気をエネルギー源とする照明、ここでは「電燈」と表現します。

昭和53年に北海道電気協会によって発行された北海道電気事業史を基にして、大雑把ではありますが、北海道における電燈普及率の経過をグラフ化しました。明治24年に一般への電気の供給が始まりましたので、スタート地点はそこです。明治時代の資料は見つけることはできませんでした。また、大正時代の普及率の数値はあるのですが、実態を反映しているものではなく、電燈普及率の正確な数は戦後からとなるそうです。明治80年がだいたい昭和20年、明治100年がだいたい昭和40年に該当します。明治100年にはほぼ100%の普及です。

電燈がなかった生活から、電燈がある生活に変化することは、どれぐらいの喜びだったのでしょうか。北海道電力株式会社が平成6年に発行した体験談集「足跡一北のあかり今に伝えて(Ⅰ)」の1ページにわかりやすい表現がありましたので、ご紹介しします。明治41年生まれの人々の体験です。

「或る日、電気会社の人に来て、家の中に電線を張って、待ちに待った電気がついた。座敷の真ん中に吊り下がった電球が、バツと明るくなり、部屋中が、一度に輝き映えた気がした。私は、喜んで座敷の中を走り回ったことが、80年を経た今も脳裏に焼き付いている。(中略) 次の日も、次の日も、電気がつけば、座敷の中を、飛び跳ねながら、走り回ったものだ」

21世紀の現代において、電燈が点いて、喜んで走り回る人はいないでしょう。電燈があるのがあたり前だからです。40代の私は、電燈で走り回ったことはありませんが、ある電気製品が自宅に来てはしゃいだ記憶があります。それは、ステレオです。レコードがかかっている部屋ではしゃいでしまったため、針が飛んでしまった記憶があります。「電燈」と「ステレオ」。時代の違いを感じます。

最後に、参考にした北海道電気事業史の108ページにあった文章をご紹介して、今回は終わらせていただきます。

「電燈がつくことは文化生活の第一歩であったと思う。電燈会社が生まれて電燈がつくことになった喜びは非常に大きいもので、今日の如く電気が必要に応じて使える時代に慣れた者にとっては、その喜びの様子を想像することすらできない」

あたり前のように、明るい夜を迎えることができる明治142年の生活に、ほんとうに感謝します。(西村智嘉男)

るばす倶楽部

【小林一茶】
雪とけて

村いっばいの
子供かな

雪とけて

国いっばいの
仕事かな

— 内閣総理大臣 殿
(超極楽とんぼ)

編集後記

少しばかり季節外れの話ですが、今年の2月に職場の人といっしょにわかさぎ釣りに行ってきました。場所は新篠津村の「しのろ湖」です。釣った直後から天ぷらにして食べられるように道具の準備はバッチリとOK。しかしながら、肝心のわかさぎがなかなか釣れません。1人が最低1匹ほど食べられるようにと必死??に釣りました。

そして、数時間後ようやく天ぷらにできました。アツアツでおいしかったです。ちょっとほろ苦かった気もしますが……。寒い屋外でみんなで協力しながらのわかさぎ釣り。職場とは違った表情や動作が見れて、とっても楽しかったです。来年は食いきれないほど釣りがまくりたいと思っています。

(N)



医療法人社団 愛心館

〒065-0027 札幌市東区北27条東1丁目1-15
TEL (011) 752-3535
FAX (011) 752-1058
E-mail info@aishinkan.jp
URL http://www.aishinkan.jp

発行/医療法人社団 愛心館

発効日/平成21年4月28日

編集/経営企画部 西村智嘉男、西川万里子

発行責任者/高橋 順一郎